

市町村における防災分野の男女共同参画推進事業【愛知県】

個別事業費	30 千円
交付金額	15 千円

地域の実情と課題

「あいち男女共同参画プラン2025」においては、「男女共同参画の視点からの防災の取組」を基本的施策の一つとして位置付けている。本県では防災担当局において防災リーダー養成や女性消防団員研修を実施しているが、研修後のフォローアップや地域における実践の場の確保については、市町村における取組推進が重要である。また、避難所運営や防災・自治会活動に男女共同参画の視点を反映させるためには、市町村職員の理解を深め、関係部署間の連携を強化する必要がある。

事業の特徴

本事業は、市町村職員を対象に、「防災活動や地域活動における男女共同参画」を主題とした研修を実施し、地域における避難所運営や防災・自治会活動に男女共同参画の視点を反映した取組を促進することを特徴としている。防災担当、男女共同参画担当など、複数分野の職員が参加することで、分野横断的な理解の醸成と連携強化を図っている。防災や地域活動の現場では、女性の意見が活かされにくい運営や役割分担が行われる場合も少なくない。本研修では、講義及びワークショップを通じて、男女共同参画の視点に立った取組の重要性について理解を深めるとともに、防災・自治会活動における女性リーダーの養成や活躍促進に向けた取組手法を学ぶ機会を提供している。また、県内における防災担当部署と男女共同参画・市民協働担当部署が連携して進めている取組事例を紹介することで、参加者が自らの自治体における実践を具体的にイメージできる内容としている。これにより、関係部署間の連携体制の強化を促すとともに、地域の実情に応じた男女共同参画の視点を取り入れた防災・地域活動の展開につなげることを目指している。

事業の効果

市町村職員向け研修には、男女共同参画・市民協働所管部署と防災所管部署の双方から参加を募り、合計71名が参加した。
アンケートでは参加者の約9割が「非常に有意義だった」「有意義だった」と回答しており、関係部署が互いの課題を共有し、連携を深めるための有効な機会となった。

目的・目標

	目標・KPI	目標	実績
事業KPI	研修会参加者の効果度（目的に合った効果の有無について5段階評価のアンケート調査結果を実施し、上位2段階の評価を選択した割合）	90%	98%

参加者からは「関係部署との連携を図る良い機会となった」との評価が多く寄せられており、研修内容の妥当性に加えて、実施体制が効果的に機能したことが示されたものと考えられる。

連携団体

- 愛知県男女共同参画審議会
- （公財）あいち男女共同参画財団
- 県内市町村
- 市町村男女共同参画担当課長会議
- 愛知県 防災安全局

今後の課題

研修会後のアンケートでは、「担当課との連携体制が不十分である」との回答が最も多く、全体の約半数を占めた。
この結果から、市町村における男女共同参画部署と防災部署の連携が十分に構築されていない状況が明確となり、「男女共同参画の視点からの防災」を推進する上で優先的に解消すべき課題であることが示された。
今後は、両部署間の定期的な情報共有の場の設定や、役割分担の明確化など、連携強化に資する仕組みづくりを段階的に検討・実施していく。

防災分野における男女共同参画推進研修会

講義及びワークショップにより、男女共同参画の視点からの取組の重要性及び防災・自治会活動における女性リーダー養成・活躍促進に向けた取組手法等について、自治体職員の理解を深める。また、県内における防災担当部署と男女共同参画・市民協働担当部署との取組事例を紹介し、関係部署との連携体制の強化を促すことを目的としている。

市町村職員（防災担当・男女共同参画担当・自治会担当）向け研修

令和7年11月26日（水）午前9時45分～正午まで

対象者：市町村等で防災及び男女共同参画行政に携わる職員

場所：愛知県自治センター E会議室

参加者：71名

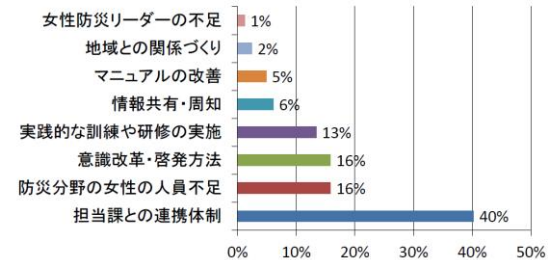
実施内容：

- 講義：「地域防災活動における男女共同参画」
 講師：エンジェルランプ代表 椿 佳代 氏
 ※講義中に防災所管部署と男女共同参画所管部署との連携事例として、避難所開設運営訓練についての事例発表を行う
- ワークショップ
 各自治体の避難所運営マニュアルを見比べ、改善点等について話し合う



研修結果からみえた今後の課題

研修後アンケート結果（「今後改善が必要と思われたこと」について）



研修会後のアンケートでは、「担当課との連携体制が不十分である」との回答が最も多く、全体の約半数を占めた。この結果から、市町村における男女共同参画部署と防災部署の連携が十分に構築されていない状況が明確となり、「男女共同参画の視点からの防災」を推進する上で優先的に解消すべき課題であることが示された。今後は、両部署間の定期的な情報共有の場の設定や、役割分担の明確化など、連携強化に資する仕組みづくりを段階的に検討・実施していく必要がある。

結果・実績

	目標・KPI	目標	実績
事業 KPI	研修会参加者の効果度（目的に合った効果の有無について5段階評価のアンケート調査結果を実施し、上位2段階の評価を選択した割合）	90%	98%